



令和2年10月 日
第26号(秋号)
南つくし野小学校
南つく蝶プロジェクト

今年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)により南つく蝶プロジェクトの活動も縮小されています。1学期はNPO法人鶴見川源流ネットワークのめだか池(成瀬、高ヶ坂の松葉調整池)での自然観察に参加することができました。

3密対策の為、池での滞在時間も短く子どもたちは物足りなかったかもしれませんが、親子でメダカ、モツゴなどを捕まえることができました。ご協力ありがとうございました。



めだか池(高ヶ坂松葉調整池)町田市高ヶ坂 1033

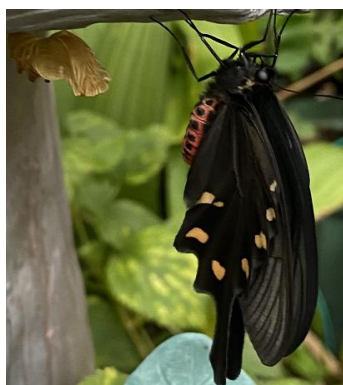
調整池は、大雨が降ったときに一度に雨水が川に流れ出てしまわないように、一時的に水を溜めておく防災施設です。大量のメダカとモツゴが生息し、「めだか池」の愛称で親しまれています。

めだか池のお世話(NPO 鶴見川源流ネットワークの活動)※誰でも参加できます。直接現地へ。

偶数月(2月4月6月8月10月12月)第3日曜日 10:00~12:00

ジャコウアゲハ

今年はジャコウアゲハが飛来してウマノスズクサに卵を産み、多くの幼虫が育ち蝶になり飛び立ちました。今は●●の工事の為、蝶プロ花だんに近づくことはできませんが、校庭や近隣で飛んでいるジャコウアゲハを見ることができるかもしれません。これからの蛹になる幼虫は冬を越えて来春蝶になります。工事も終わって来春にたくさんのジャコウアゲハを見ることができたらいいですね。ジャコウアゲハの特徴は、お腹が赤いことと尾状突起が長いことです。オスの羽根は黒く、メスは色が薄いので雌雄の区別が分かりやすい蝶です。ウマノスズクサも増えているので、家で育ててみたい人は蝶プロスタッフまでお声がけください。



羽化したばかりのオス



産卵中のメス

今までの活動をホームページで公開しています。参考にしてください



『南つく蝶プロジェクト』で検索してね。

<http://butterflygarden.sunnyday.jp/>